

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 9日

富山市長 殿

提出者

住 所 石川県金沢市駅西本町1-14-29

氏 名 大鉄工業㈱ 北陸支店

執行役員支店長 今村 智

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 076-231-3630

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大鉄工業㈱ 北陸支店
事業場の所在地	石川県金沢市駅西本町1-14-29
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	DD6 総合工事業
②事業の規模	127億円（令和5年度実績）
③従業員数	203人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

（日本産業規格 A列4番）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
1. 環境面を考慮した施工方法の検討を行う。 2. 工事資材の梱包材の簡素化を推進する。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 作業スペースや工程上、分別保管は困難な作業所もあるが、分別を進め るため各作業所より分別保管の種類等を報告させ分別保管状況をパト ロール等で確認している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別保管をより進める。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t		t
(これまでに実施した取組) 該当なし				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t		t
(今後実施する予定の取組) 該当なし				

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

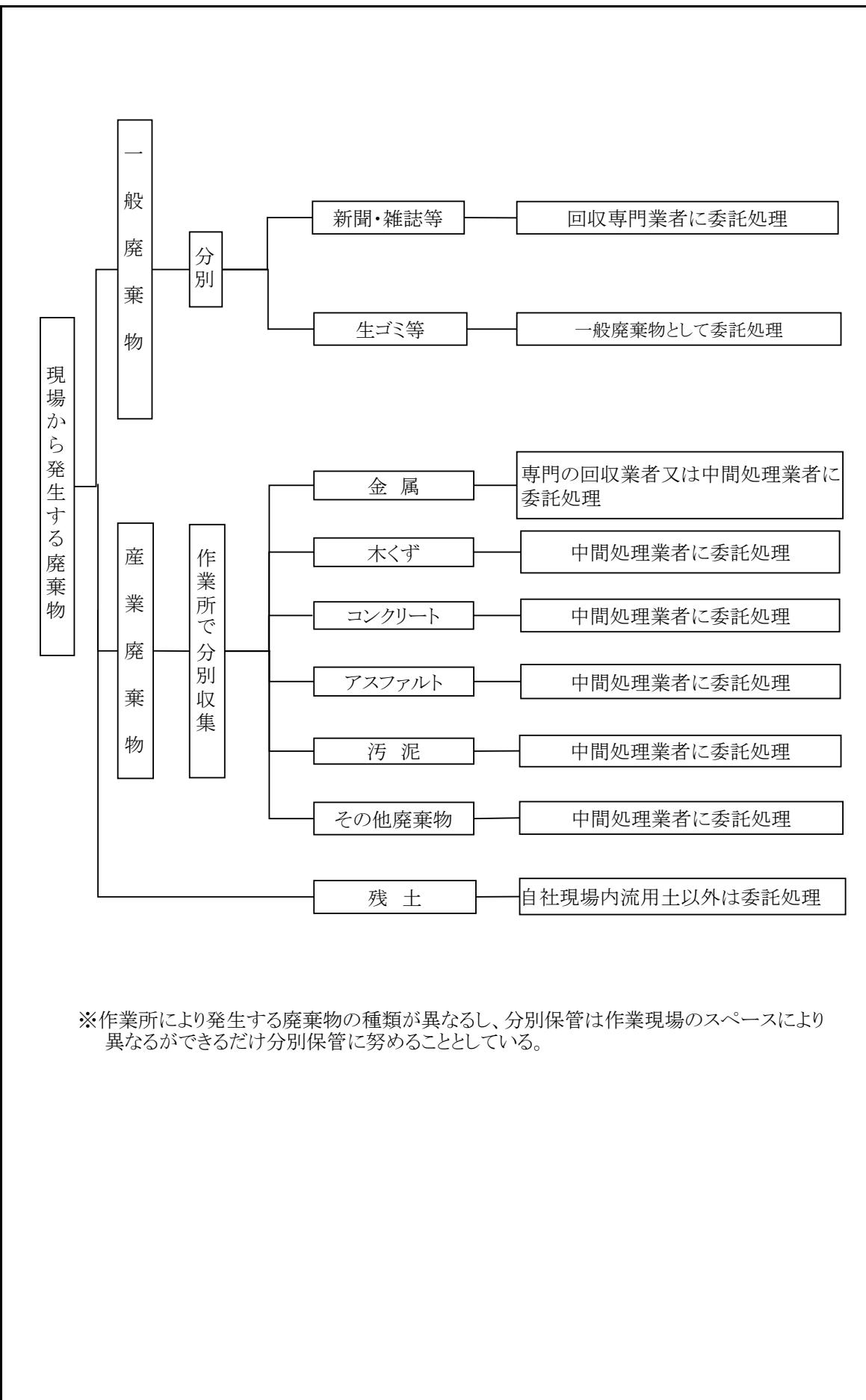
		【前年度（令和6年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり		
	全処理委託量	t		t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t		t
	再生利用業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t		t
(これまでに実施した取組) 現時点では、工事規模、工期、作業ヤード（土地）等の状況により自社 による中間処理施設設置は困難である。				

【目標】																				
②計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">産業廃棄物の種類</td><td style="width: 40%;">別紙集計表のとおり</td><td style="width: 30%;"></td></tr> <tr> <td>全処理委託量</td><td style="text-align: center;">t</td><td style="text-align: center;">t</td></tr> <tr> <td>優良認定処理業者への 処理委託量</td><td style="text-align: center;">t</td><td style="text-align: center;">t</td></tr> <tr> <td>再生利用業者への 処理委託量</td><td style="text-align: center;">t</td><td style="text-align: center;">t</td></tr> <tr> <td>認定熱回収業者への 処理委託量</td><td style="text-align: center;">t</td><td style="text-align: center;">t</td></tr> <tr> <td>認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量</td><td style="text-align: center;">t</td><td style="text-align: center;">t</td></tr> </table>	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり		全処理委託量	t	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	再生利用業者への 処理委託量	t	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	
産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり																			
全処理委託量	t	t																		
優良認定処理業者への 処理委託量	t	t																		
再生利用業者への 処理委託量	t	t																		
認定熱回収業者への 処理委託量	t	t																		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t																		
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在、当社の取引業者に優良認定処理業者はないが今後は、隨時委託していく。</li> <li>2. 発生した産業廃棄物を自らの責任において適正に処理するものとし、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。</li> <li>3. 発生した産業廃棄物の自社処理設備設置は困難なため、処理業者に委託するが、収集運搬から処分に至るまでを確認する。</li> <li>4. 産業廃棄物の抑制をはかり、最終処分の削減、再生利用の拡大に努める。</li> <li>5. 廃棄物の処理について、関連会社にも必要な指導を行う。</li> </ol>																			
※事務処理欄																				

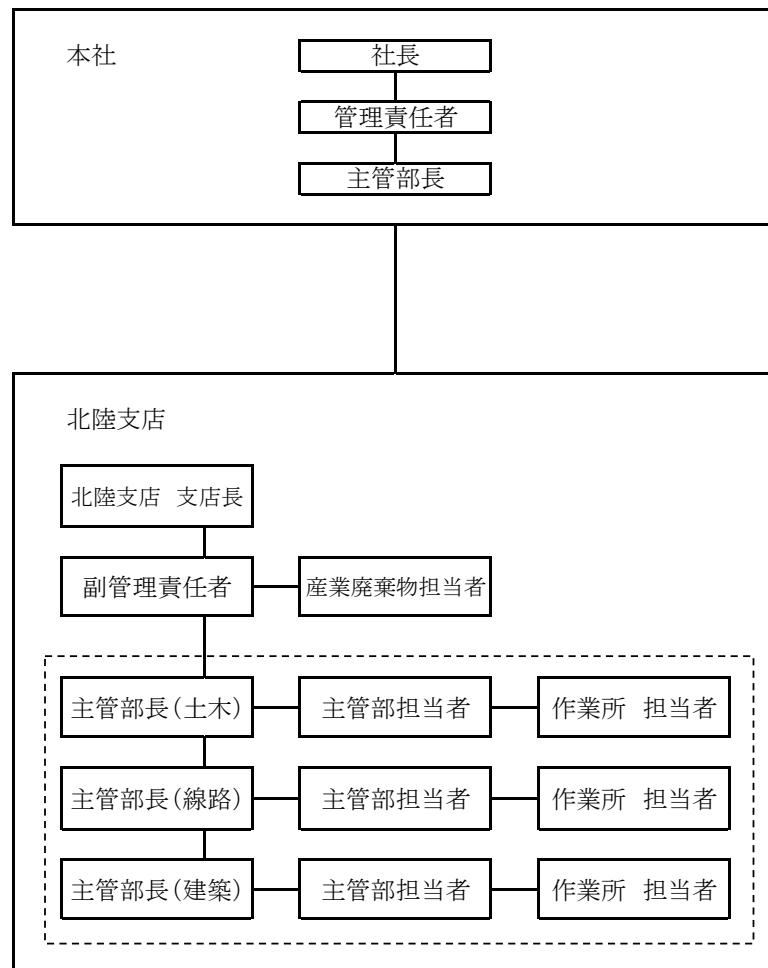
## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 別添1 処理工程図



## 別添2 管理体制図



## 産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和6年度)実績量

### 計画:今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン